



第5号



発行所
茨城県護國神社
水戸市見川1-2-1
電話 (029) 241-4781
FAX (029) 297-8332



宮司挨拶

茨城県護國神社
宮司 飯塚 重

謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げますとともに、ご遺族崇敬者の皆様方に「挨拶を申し上げます。新型コロナウイルス感染症流行も二年が経過し未だに終息の気配が見えず不自由な生活が強いられており、連日報道される世界情勢からは戦争の悲惨さと平和であることの尊さを痛感致します。

この様な時勢の中、今年には沖繩が祖国復帰し五十年となります。今から七十七年前、沖繩では軍民併せて二十万余の尊い命が失われ、また文化遺産にも多大な被害をもたらし、今なお深い爪痕が残っております。現在も未だ見つからぬご遺骨を探しお迎えをして国立墓苑に奉葬するため遺骨収集活動が毎年行われております。本年は当社からも職員一名が参加をお許し頂きました。貴重なご奉仕を体験し恒久平和への祈りと感謝の念が深まったと存じます。

護国の大神様の大御恵をいただき、世界に平穏な日常が戻りますことを衷心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

祭典行事

一月一日から六月三十日

一月 一日 元旦祭

三日 元始祭

二月 九日 創祀記念祭

十一日 建国記念祭

十七日 祈年祭

二十三日 天長祭

三月 二十日 春分祭

四月 十日 春季大祭

二十九日 昭和祭

六月 三十日 夏越大祓式

古神札焼納祭

一月十五日 午前十時

正月の縁起物や古神札を焼き上げて無病息災を祈念し、正月を締めくくる古神札焼納祭が斎行されました。

事前に納められた古神札を二の鳥居前に高く積み上げ、忌み火を点火し焼き上げました。



古神札焼納祭

創祀記念祭

二月九日 午前十時

当社の前身である「鎮霊社」が創祀されたことを寿ぐ創祀記念祭が斎行されました。

鎮霊社は明治十一年二月九日現在の水戸市

常磐神社の境内に幕末から明治維新にかけて殉じた水戸藩関係の烈士等千八百余柱の御霊を御祭神として創祀、以後数多の戦役で散華された御英霊の合祀が行われました。

昭和十六年十一月六日、常磐神社境内の「鎮霊社」から内務省指定の護國神社である「茨城縣護國神社」として現在の桜山に遷座されました。

櫻田烈士慰霊祭

三月三日 午後三時

安政七年(一八六〇年)三月三日、江戸城桜田門外において尊王攘夷派の水戸藩浪士十七名、薩摩藩浪士一名の総勢十八名によって大老井伊直弼公が襲撃され、暗殺される「桜田門外の変」が起きました。

「桜田門外の変」の十七烈士を祀る当社では、毎年三月上旬に桜田烈士の慰霊顕彰を行う崇敬団体「桜門之会」主催による慰霊祭を斎行しております。



櫻田烈士慰霊祭



毎月 一日 朔旦祭

十時齋行

十五日 月次祭

十時齋行

毎日

命日祭

十一時齋行



狩野理事長挨拶



宮司挨拶

春季大祭

四月十日 午前十時半

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小しながらの齋行となりました。桜花爛漫たる桜山の境内では厳かに海川山

残念ながら本年は昨年度同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、鈴木泉会長他役員五名の参列を頂き、厳粛に齋行致しました。

句碑建立十年祭

四月十五日 午前十一時

俳句結社「ひたち野」主催により嶋崎専城句碑建立十年祭が齋行されました。あいにくの雨模様となり拝殿での齋行となりました。

野の神饌が供せられ、斎主飯塚宮司による祝詞の奏上、献幣使としてご参向の茨城県神社庁石崎雅比古副庁長による祭詞が奏上されました。一般社団法人茨城県遺族連合会狩野安理事長以下参列者の皆様から玉串が捧げられ、滞りなく齋行致しました。桜の満開と日曜日が重なり大変多くのお参りがありました。



句碑建立十年祭

嶋崎専城句

「蝉しぐれまた新たなる聲加ふ」

茨城県の伝統を守る

「西ノ内紙」

現在、茨城縣護國神社では常陸大宮市の国・県指定文化財である「西ノ内紙」を用いて季節に応じた御朱印を頒布しております。「西ノ内紙」は水戸藩の専売品として藩の財政に大きく貢献し、『大日本史』編纂用紙に用いられました。丈夫で水につけても破れにくいことから江戸では商人の大福帳に使用されました。

茨城県の県名を冠する茨城縣護國神社として県内の伝統・精神を守り伝えるべく、西ノ内紙「五介和紙」様のご協力のもと御朱印を奉製いたしました。

四季の風情を愉しみながら、茨城県の誇る伝統の和紙をぜひともご覧ください。

頒布予定につきましては公式HP、各種SNSにてお知らせいたします。

次回、六月一日より「あじさい御朱印」を頒布致します。



さくら御朱印(4月1日～)

ひな人形展

ひたすらに国の為、家族の為にと命を捧げられた御英霊の御心を少しでもお慰め申し上げるため毎年このひな人形展を開催しております。

本年は御英霊の遺品となるひな人形が奉納されました。規模を大幅に縮小しての開催となりました。



桜始開

さくらはじめてひらく

茨城縣護國神社が鎮座しますこの桜山は景勝の地であり、古くは「白雲岡」と呼ばれていました。

当初水戸藩第九代藩主徳川斉昭公(烈公)はこの桜山に借楽園を造営しようとしたが、地形が狭いため、この丘には桜山の由縁ともなる数百の桜を植え、休息所として「一遊亭」を建てて、借楽園の好文亭と相対させました。

さて現在社頭では桜に美しく咲いてもらうために、職員一丸となって桜山の整備を進めています。

その一環として今年の三月頃から、桜山の斜面、鳥居付近、御神木付近、ベリリユー鳥慰霊碑付近に芝桜の植え込み作業を始めました。

芝桜は桜と名前が付きますが、いわゆる桜の木とは全く異なる品種です。

北アメリカ原産の本種は、「芝生」のように地面に広がり「桜」のような花を咲かせることから「芝桜」と呼ばれています。

植え込んだ芝桜は当社の「ソメイヨシノ」が散り始めたころから、五月にかけて綺麗な花を咲かせてくれました。

来年、再来年にはどれだけの広がりを見せてくれるのでしょうか。

早く大きくなれよと愛情込めて育てています。

